

「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業」

平成 21 年度の実施概要

四国森林管理局

平成 21 年度予算額 12,000,000 円

1. 被害調査、生息調査等

一般競争入札により委託調査を実施

相手方：(株)西日本科学技術研究所

調査期間：平成 21 年 9 月 4 日から平成 22 年 3 月 10 日まで

内容：

(1) 生息環境・植生回復調査

高知県側、徳島県側にそれぞれ調査プロットを設定し、ササ等の植生の状況、被害状況等を調査、分析。

すでに防護柵を設置した箇所（高知県側）について、柵の内外に調査プロットを設定し、植生の回復状況を調査、分析。

(2) シカ動態調査

高知県香美市西熊渓谷周辺において、シカを 2 頭生体捕獲し GPS 首輪を装着して放獣、行動を記録中。

成獣メス、幼獣オス

2 連絡会議

第 1 回 平成 21 年 6 月 30 日

本事業の実施方針案について検討。関係機関の本年度の対策、調査等の概要を報告。

第 2 回 平成 22 年 3 月 8 日（本日）

関係機関の本年度の対策等の報告、22 年度の対策等の計画案を報告。

3 対策の実施

(1) 防護柵等の設置

徳島県側 三嶺北側において、防護柵を請負契約により設置 1箇所

防護柵延長 0.85km

高知県側 三嶺南側におけるボランティアによるシカ防護ネット柵、単木保護ネット巻き付け作業の資材購入（昨年度の他事業費による購入を含む）

「三嶺の森をまもるみんなの会」等との協働 3回実施

これまでの設置実績

防護柵設置 26箇所（21年度設置 17箇所）

（このほか牧野植物園設置4箇所）

単木保護ネット巻 3,154本（21年度設置1,353本）

(2) 防護柵等の管理

高知県側において、設置済みの防護柵等の見廻り、補修を実施

4 エリア内における関連事業

(1) 生息密度調査（糞粒法）等 平成20年度に引き続き実施。

(2) 徳島県側において、ボランティア、請負による単木保護ネット巻き作業を実施。

(3) 高知県側の土砂流出の懸念がある箇所の流出防止、植生回復対策を実施。

（治山事業）（資材のへり運搬を実施）

「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業」

平成22年度の実施計画案

四国森林管理局

1. 被害調査、生息調査等

一般競争入札により委託調査を実施

内容：

(1) 生息環境・植生回復調査

高知県側、徳島県側にそれぞれ調査プロットを設定し、ササ等の植生の状況、被害状況等を調査、分析。

すでに防護柵を設置した箇所について、柵の内外に調査プロットを設定し、植生の回復状況を調査、分析。

(2) シカ動態調査

シカを2頭生体捕獲しGPS首輪を装着して放獣、行動を記録。捕獲場所について調整。

糞粒法による生息密度調査を統合。

2 連絡会議

2回予定。

5月頃、23年3月頃

3 対策の実施

(1) 防護柵等の設置

徳島県側 三嶺北側において、防護柵を請負契約により設置

高知県側 三嶺南側におけるボランティアによる単木保護ネット巻き付け
作業の資材購入

(2) 防護柵等の管理

設置済みの防護柵等の見廻り、補修を実施

4 関連事業

効率的な捕獲に資するため、効率的な囲いワナの開発（技術開発）に着手する予定